

日本癌学会 SSP（サバイバー・科学者プログラム）での取り組みについて



日本癌学会 理事
藤田 直也



（公財）がん研究会 がん化学療法センター 所長

第61回日本癌治療学会学術集会

COI 開示

筆頭発表者名：藤田 直也

私の今回の演題に関連して、
開示すべきCOIは以下のとおりです。

研究費： TOPPANホールディングス株式会社
研究員等：該当なし
寄附講座：該当なし

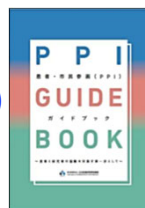
PPI (Patient and Public Involvement) に向けて

研究（医学研究・臨床試験）を見極め、意見を述べられる市民科学者の育成が急務

患者・市民参画は海外でも広がっている※

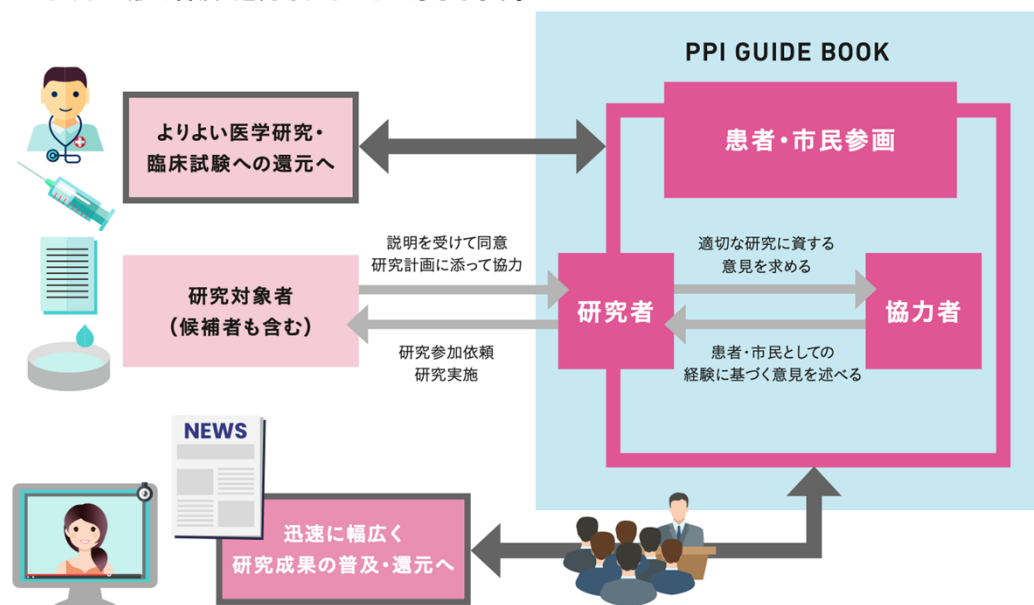


「患者・市民参画」（主に英国）
 ≡ 「リサーチアドボカシー」（主に米国）
 ≡ 「ペイシェントセントリシティ」（製薬協）



患者・市民参画の位置づけ

患者・市民参画は、医学研究・臨床試験の現場がよりよいものとなること、またその成果が社会によりよい形で普及・還元されることに寄与します。



<https://www.amed.go.jp/ppi/guidebook.html> より引用/改変

がん医療におけるPatient Advocate育成に向けた取り組み

研究（医学研究・臨床試験）を見極め、意見を述べられる市民科学者の育成が急務

日本癌治療学会

PAL (Patient Advocate Leadership) プログラム
2009年の第47回日本癌治療学会学術集会より開始

1. がんの患者さん・ご家族を支援する団体運営者または個人が、**内外のがん医療に関する知識と最新の情報を得ていただくこと。**
2. 学会で得た知識や最新の情報をもとに、ご自身の活動地域や領域において、**日本のがん医療やがんの患者さん・ご家族の支援の質を向上させるための活動のリーダーとしてご活躍いただくこと。**

日本臨床腫瘍学会

PAP (Patient Advocate Program) プログラム
2011年の第9回日本癌治療学会学術集会より開始

患者・家族、市民と会員が、正しい情報を共有し、課題を抽出、議論する場として提供するプログラムであり、本プログラムの実施が、より良いがん医療の実現につながっていくことを目的としています。

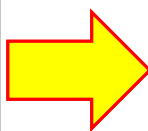
1. 基礎講座：**がん医療やがん対策について広く学ぶ。**
2. 応用講座：医学研究・臨床試験等における患者・市民参画（PPI；Patient and Public Involvement）を推進する事で、**より良いがん医療のために患者、家族等が協働する事の重要性を学ぶ。**

PPI (Patient and Public Involvement) に向けた 日本癌学会での取り組み

日本癌学会とは？

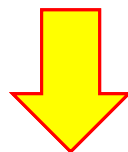
1941（昭和16年）創立のがん研究の発展を図る
学会。日本医学会/日本医学会連合の基礎部会所属。

日本癌学会での取り
組みは？



より基礎的ながん研究も、
がん医療の発展には欠かせない

がんの基礎研究を支援してくれる
がん研究アドボケート育成は必要



日本癌学会サバイバー・科学者プログラム
(JCA-SSPプログラム) の設立へ

日本癌学会 サバイバー・科学者プログラム（JCA-SSP） （2015年にトライアルを開催）

目的：がんとの闘いを加速するために、サバイバー・患者会リーダーと科学者の
パートナーシップを作る。

IN THIS SECTION

PATIENT ADVOCATE EVENTS >

NEWSLETTER: ADVOCACY ALERT >

EDUCATION AND RESOURCES >

SCIENTIST↔SURVIVOR PROGRAM* ▼

SCIENTIST↔SURVIVOR PROGRAM®

BUILDING BRIDGES FOR PROGRESS AGAINST CANCER

The AACR Scientist↔Survivor Program® is designed to build enduring partnerships among the leaders of the scientific, cancer survivor, and patient advocacy communities worldwide. The program provides advocates with special lectures using lay language, small group discussions, and other opportunities for the exchange of information on key aspects of cancer research, survivorship, advocacy, and public policy.

<https://www.aacr.org/patients-caregivers/patient-advocacy/scientist-survivor-program/>（AACR HP）より引用/改変

日本癌学会

サバイバー・科学者プログラム（JCA-SSP）

（2015年にトライアルを開催）

目的：がんとの闘いを加速するために、サバイバー・患者会リーダーと科学者のパートナーシップを作る。

米国癌学会（A A C R）では1999年に、世界中の科学者、がんサバイバーや患者支援団体のリーダーが集うがん研究コミュニティの構築を目指し、「科学者⇄サバイバープログラム（S S P）」が創設された。米国癌学会では、がん研究者とサバイバーが相互に有益な情報交換の場をつくることでパートナーシップを醸成し、がん研究を支援するサバイバーや患者支援団体のリーダーを育成して公共政策の重要な側面の理解を深めるなど、国を挙げたがん研究に取り組む環境育成を進めてきました。

がん研究の現状、課題を理解し、**がん研究を支援するアドボケートを育成するためのプログラムを日本で開始する**にあたり、患者支援団体の有志にモニターとして第74回日本癌学会学術総会に参加体験していただき、そのフィードバックから、次年度以降のSSPプログラムの拡大に繋げることを目的とする。

日本癌学会では、S S Pプログラムを進めることで、がん研究の分野におけるがんサバイバー・患者支援団体リーダーと科学者との協働を深め、がん研究の成果をより迅速にがん患者に届け、国を挙げたがん研究の進展につなげることを目指して、まずは2015年にトライアルを開催した。

日本癌学会

サイバー・科学者プログラム (JCA-SSP) の変遷

SSP プログラム **トライアル**
(第74回日本癌学会学術総会時)

日時：2015年10月8日－10日
会場：名古屋国際会議場 4号館 3階
アドボケートメンター

眞島喜幸、天野慎介、桜井なおみ
サイエンティフィックメンター
野田哲生(委員長)、矢野聖二、
馬場英司、藤田直也



JCA
JAPANESE CANCER ASSOCIATION

The 74th
Annual Meeting of
the Japanese
Cancer Association
in NAGOYA

患者に繋ぐがん研究
連携から
融合へ
From collaboration to integration:
Cancer research for patients' benefit

第74回 日本癌学会学術総会

PROGRAM

Date October 8 (Thu.) - 10 (Sat.), 2015
Venue NAGOYA CONGRESS CENTER
Nagoya

President Tomoki Naoe
Nagoya Medical Center
直江 知樹
独立行政法人国立病院機構
名古屋医療センター 院長

<http://www.congre.co.jp/jca2015/>

日本癌学会

サバイバー・科学者プログラム（JCA-SSP）の変遷

SSP プログラム **トライアル**
 （第74回日本癌学会学術総会時）

日時：2015年10月8日－10日
 会場：名古屋国際会議場 4号館 3階
 アドボケートメンター
眞島喜幸、天野慎介、桜井なおみ
 サイエнтиフィックメンター
 野田哲生(委員長)、矢野聖二、
 馬場英司、藤田直也

トライアル

1

4

8

コロナ禍

2023年

天野慎介、桜井なおみ、眞島喜幸



（一社）全国がん患者
団体連合会



米国SSP既参加者
（株）キャンサー
ソリューションズ



米国SSP既参加者
（NPO）パンキャン
ジャパン

日本癌学会

サイバー・科学者プログラム（JCA-SSP）の変遷



SSP プログラム **トライアル**
(2015年の第74回日本癌学会学術総会時)

会期：2015年10月8日のみ開催

目的：がん研究を支援するアドボケートを育成するSSPに関して、来年度からの第1回プログラム実施に向け、JCA-SSPが指名した参加者が評価を行うことを目的とする。

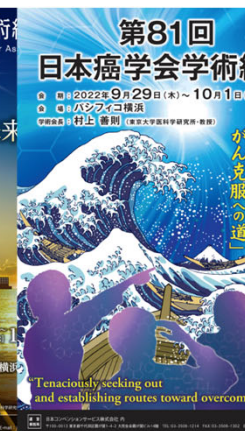
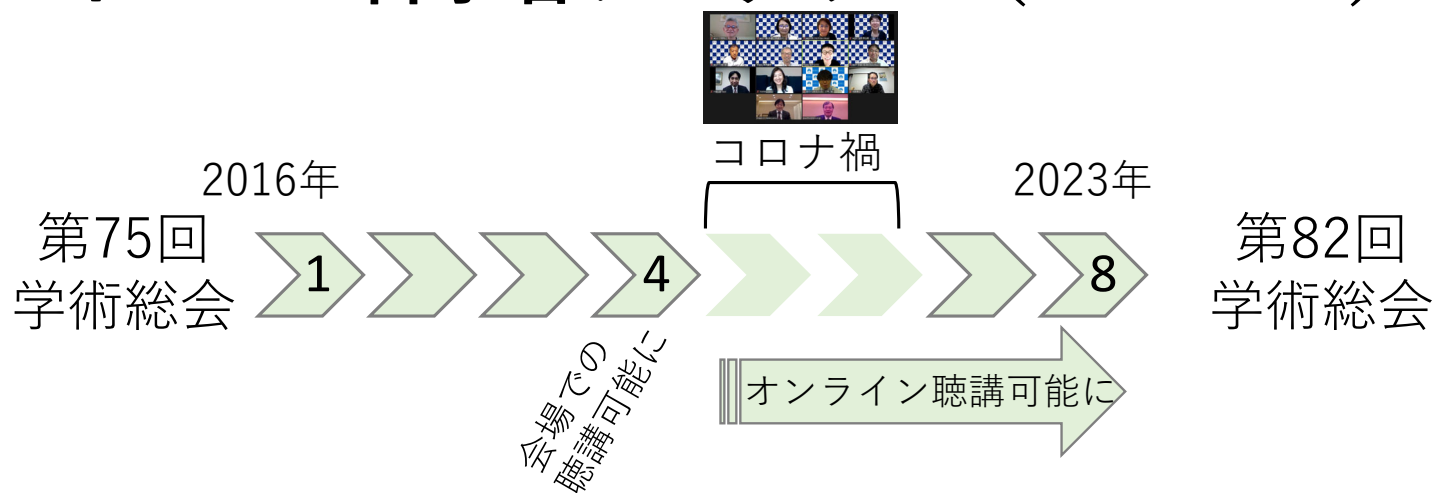
特典：参加費免除、ランチ無料

依頼事項：参加レポート提出・SNSによる告知

内容：↓ Dr. Fotiによる米国SSP発足の歴史と意義の紹介
↓ メンターセッション（野田先生、馬場先生など）
↓ 米国SSP参加経験談（眞島様、桜井様より）
↓ 他学会におけるPPIへの取組事例紹介（天野様より）
↓ 今後の学術総会におけるJCA-SSP開催に関する相談

日本癌学会

サバイバー・科学者プログラム (JCA-SSP) の変遷



日本癌学会SSPの開催スケジュール

- アドボケートメンター(3名→5名)

眞島喜幸、桜井なおみ、天野慎介

大西裕之（第4回より）、馬上祐子（第6回より）

- サイエンティフィックメンター

委員長：野田哲生（第1回～第4回）、
畠山昌則（第5回～第8回）

委員：3～5名（テーマによって変動）

基礎講座講師：6～7名（最新研究の話題について）

第7回JCA-SSP 2022年（第81回学術総会時）講師

野田哲生先生、藤堂具紀先生、
浦野泰照先生、鳥越俊彦先生、
石井健先生、三森功士先生

1 日目
↓アドボケートメンターによるオリエンテーション ↓挨拶など ↓学術総会の聴講 ↓SSP基礎講座 1～2 ↓学術総会の聴講 ↓SSP基礎講座 3
2 日目
↓学術総会の聴講 ↓SSP基礎講座 4～5 ↓アドボケートメンターとのグループセッション ↓学術総会の聴講 ↓ポスターセッション ↓名誉会員・評議員合同懇親会への参加
3 日目
↓SSP基礎講座 6 ↓学術総会の聴講 ↓グループプレゼンテーションの準備 ↓学術総会の聴講 ↓グループプレゼンテーション ↓修了証授与式・閉会式

日本癌学会SSPの開催スケジュール

- アドボケートメンター(3名→5名)

眞島喜幸、桜井なおみ、天野慎介

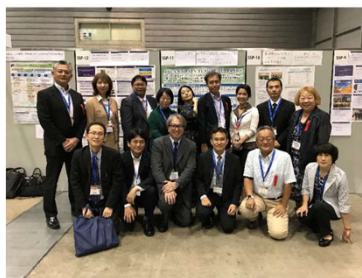
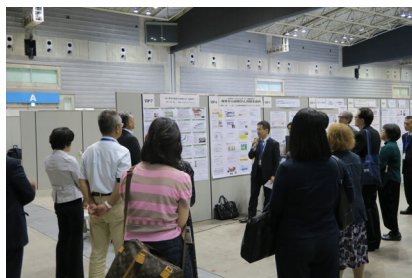
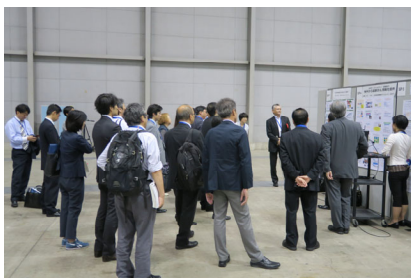
大西裕之（第4回より）、馬上祐子（第6回より）

- サイエンティフィックメンター

委員長：野田哲生（第1回～第4回）、
 畠山昌則（第5回～第8回）

委員：3～5名（テーマによって変動）

基礎講座講師：6～7名（最新研究の話題について）



1 日目

- ↓ アドボケートメンターによるオリエンテーション
- ↓ 挨拶など
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ SSP基礎講座 1～2
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ SSP基礎講座 3

2 日目

- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ SSP基礎講座 4～5
- ↓ アドボケートメンターとのグループセッション
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ **ポスターセッション**
- ↓ 名誉会員・評議員合同懇親会への参加

3 日目

- ↓ SSP基礎講座 6
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ グループプレゼンテーションの準備
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ グループプレゼンテーション
- ↓ 修了証授与式・閉会式

日本癌学会SSPの開催スケジュール

第7回JCA-SSP 2022年

(第81回日本癌学会学術総会時)

野田哲生先生、藤堂具紀先生、
浦野泰照先生、鳥越俊彦先生、
石井健先生、三森功士先生

ポスター発表

座長：吉見昭秀先生

グループプレゼンテーション

- ・がんのウイルス療法
- ・光を使った新たながんの医療

第8回JCA-SSP 2023年

(第82回日本癌学会学術総会時)

野田哲生先生、柴田龍弘先生、
久保田晋平先生、藤田恭之先生、
井上真奈美先生、片岡一則先生、
星野歩子先生

ポスター発表

座長：磯部大地先生

グループプレゼンテーション

- ・ナノメディシン（ナノスケール）
の現状と展望
- ・ゲノム変異解析と予防（未病を
中心に）

グループプレゼンテーションのテーマ（4/12打ち合わせ、7/10会議）

サイエンティフィックメンター：

畠山昌則（委員長）、吉見昭秀、磯部大地

アドボケートメンター：

天野慎介、大西啓之、桜井なおみ、眞島喜幸、馬上祐子

担当理事：藤田直也

1 日目

- ↓ アドボケートメンターによるオリエンテーション
- ↓ 挨拶など
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ SSP基礎講座 1～2
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ SSP基礎講座 3

2 日目

- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ SSP基礎講座 4～5
- ↓ アドボケートメンターとのグループセッション
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ ポスターセッション
- ↓ 名誉会員・評議員合同懇親会への参加

3 日目

- ↓ SSP基礎講座 6
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ グループプレゼンテーションの準備
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ **グループプレゼンテーション**
- ↓ 修了証授与式・閉会式

日本癌学会SSPの開催スケジュール

第7回JCA-SSP 2022年

(第81回日本癌学会学術総会時)

野田哲生先生、藤堂具紀先生、
浦野泰照先生、鳥越俊彦先生、
石井健先生、三森功士先生

ポスター発表

座長：吉見昭秀先生

グループプレゼンテーション

- ・がんのウイルス療法
- ・光を使った新たながんの医療

第8回JCA-SSP 2023年

(第82回日本癌学会学術総会時)

野田哲生先生、柴田龍弘先生、
久保田晋平先生、藤田恭之先生、
井上真奈美先生、片岡一則先生、
星野歩子先生

ポスター発表

座長：磯部大地先生

グループプレゼンテーション

- ・ナノメディシン（ナノスケール）
の現状と展望
- ・ゲノム変異解析と予防（未病を
中心に）

グループプレゼンテーション



1 日目

- ↓ アドボケートメンターによるオリエンテーション
- ↓ 挨拶など
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ SSP基礎講座 1～2
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ SSP基礎講座 3

2 日目

- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ SSP基礎講座 4～5
- ↓ アドボケートメンターとのグループセッション
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ ポスターセッション
- ↓ 名誉会員・評議員合同懇親会への参加

3 日目

- ↓ SSP基礎講座 6
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ グループプレゼンテーションの準備
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ **グループプレゼンテーション**
- ↓ 修了証授与式・閉会式

日本癌学会

第7回SSPプログラム（第81回日本癌学会学術総会時）

オリエンテーション



開会式ご挨拶 Dr.Foti Executive Officer of AACR



SSP基礎講座①



SSP基礎講座②



1 日目

- ↓ アドボケートメンターによるオリエンテーション
- ↓ 挨拶など
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ SSP基礎講座 1～2
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ SSP基礎講座 3

2 日目

- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ SSP基礎講座 4～5
- ↓ アドボケートメンターとのグループセッション
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ ポスターセッション
- ↓ 名誉会員・評議員合同懇親会への参加

3 日目

- ↓ SSP基礎講座 6
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ グループプレゼンテーションの準備
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ グループプレゼンテーション
- ↓ 修了証授与式・閉会式

日本癌学会

第7回SSPプログラム（第81回日本癌学会学術総会時）

ポスターセッション



グループプレゼンテーション①



グループプレゼンテーション②



閉会式



1 日目

- ↓ アドボケートメンターによるオリエンテーション
- ↓ 挨拶など
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ SSP基礎講座 1～2
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ SSP基礎講座 3

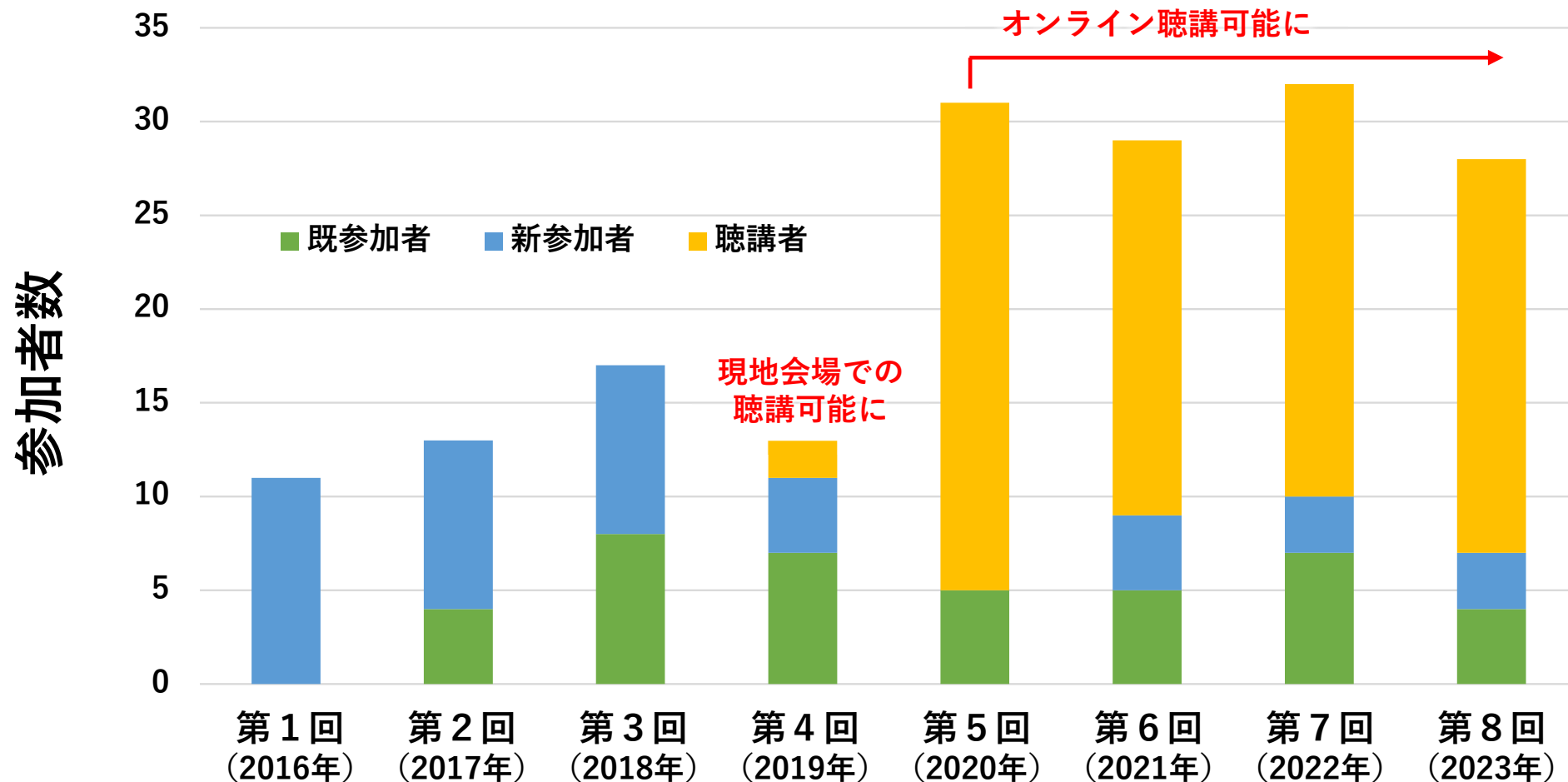
2 日目

- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ SSP基礎講座 4～5
- ↓ アドボケートメンターとのグループセッション
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ ポスターセッション
- ↓ 名誉会員・評議員合同懇親会への参加

3 日目

- ↓ SSP基礎講座 6
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ グループプレゼンテーションの準備
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ グループプレゼンテーション
- ↓ 修了証授与式・閉会式

日本癌学会 S S P 参加者数の推移



日本癌学会 SSP への参加のお誘い

日本癌学会のSSPでは、

- 参加者（3日間の現地参加）と聴講者（オンライン参加者）を毎回募集しています。
- 参加者には、交通費・宿泊費の助成、参加費無料、ランチ無料（総会のランチョンセミナーへの参加はできません）、全体懇親会費参加無料となっています。3日間のプログラム参加者には修了証をお渡ししています。
- 聴講者は、SSP基礎講座とポスター発表とグループプレゼンテーションの聴講は可能ですが、総会プログラムには参加できません。
- 参加者は全体で20名程度としており、そのために初参加は10名程度としております。聴講者は10名程度となりますが、応募者多数の場合は聴講者数を拡大する方向で考えています。

日本癌学会では、がん医療の発展に欠かせないがんの基礎研究を支援していただけるリサーチアドボケートとして活躍くださる人を1人でも多く育成したいと考えておりますので、どうぞ奮ってご参加ください。

THE 82ND ANNUAL MEETING OF THE JAPANESE CANCER ASSOCIATION
第82回 日本癌学会学術総会

サバイバー・科学者 プログラム（略称 SSPプログラム）
参加者 募集要項

目的

がん患者や家族を支援する団体運営者または個人が、日本癌学会学術総会への参加を通じてがん研究に関する理解を深めることで、がん研究に対してがん患者や家族の立場から参画する「リサーチ・アドボケート」が養成されること。また、リサーチ・アドボケートとがん研究者が協働してがん研究の推進を図ること、がん医療の向上に寄与すること。

概要

SSP プログラム参加者は第82回日本癌学会学術総会において、SSP プログラムの受講、プログラムセッションの聴講、ポスターの閲覧、並びにあらかじめ指定されたテーマによるポスター掲示・発表ができます。また、学術総会参加費の免除、学術総会参加に伴う旅費交通費の助成が行われるとともに、プログラム修了者には修了証が授与されます。

募集人員 参加者（現地参加）

10名程度（初参加／2回目以降併せて 16名程度）

募集人員 聴講者（オンライン参加）

10名程度（1日のみの参加も可能です。ご希望のお日にちを選択ください。）